（第110号）　（昭和37年12月5日 第3種郵便物認可）　（発行日　毎月1日）　昭和41年10月1日（土曜日）


# 広報五城目

発行所　秋田県五城目町役場
（電話　五城目　501番～505番）
印刷所　小浜印刷所　電話　6058番（一部五円）
編集　総務課


## 季節の窓

なだらかな丘陵に放牧された牛の群。いっとき惜んで青草を食べる親牛と子牛花ススキがほおけ、深みゆく秋とともに牛たちは里帰りする。

## 10月の税金

▷ 町民税　第3期
▷ 国保税　第3期

10月末日が納期限です。町のいろいろな事業も最後の追い込みにはいる大事な時機なので、納税にご協力ください。

## 五小新校舎第一期工事
# 大木建設が着手
### 二千八百九十五万円で三月竣工

五城目小学校新校舎第一期工事の入札は九月九日午後三時から役場第一会議室で行なわれ、大木建設に落札しました。

入札にはわが国建設業界の大手である大木、西松、清水、鹿島、竹中の五社が指名され、戦争入札の結果、五業者とも町の予定額二千八百九十五万円を大きく上廻り、最低が三千二百万円となりましたので、これを不落とし再入札をしたのです。

その結果、竹中工務店が三千百五十万円、鹿島建設が三千百二十万円、清水建設が三千百万円、西松建設が三千五十万円、大木建設が二千九百万円の入札額で結局最低額の大木建設との間に協議折衝して五万円を引き下げ町の予定額どおり落札したものです。

なお、大木建設との工事請負契約は九月二十一日の臨時町議会で議決され、直ちに着工して昭和四十二年三月三十一日に竣工します。校舎は鉄筋コンクリート三階建一、〇七三平方㍍（三二四坪）高学年部の十二教室

上　整地がほとんど完成した敷地
左右　山手線から見た通学道路
全校舎の第1期工事の略図

## お知らせ

### 秋の農作業標準賃金

町農業委員会、町農家労働力調整協議会では、9月10日の総会で、秋の農作業労働標準賃金を次のように定めましたので、全町統一するようご協力ください。ただし、特殊事情のある地域は、ある程度加減してもよいことになっています。

▷ 刈り取り（1日）㋑乾田男750円　女650円　㋺湿田男800円　女700円
▷ 刈り取りの請負　10アール（1反歩）1.800円
▷ 稲上げ（1日）刈り取り賃金と同じ
▷ 同　テーラー　1日　2.800円
▷ 脱穀（賃扱き）10アール当り900円
▷ 雑作業（1日）男700円　女550円

以上は実働8時間で、賄なしの賃金です。

### 戦死者の特別弔慰金

前に5万円の弔慰金を受ける資格のあった者に、支給の範囲をひろげ、いままで受ける資格がなかった戦死者の兄弟も3万円の特別弔慰金をもらえることになります。資格は戦死者と同一生計を営む者で、昭和40年4月1日現在公務扶助料を受けている者がいない場合…などで、これは請求によって支給されますから、該当すると思われる方は役場住民課恩給係へご相談ください。

### 公営住宅入居者を募集

岩野野球場に建設した公営住宅12戸ができましたので、次のとおり入居者を募集しています

▷ 建物　第二種31.59平戸㍍（9坪）
▷ 家賃　月額2.500円
▷ 資格　①現在同居し、または同居しようとする親族があること　②1か月の収入合計から扶養家族1人につき2千円を控除した額が2万円以上であること　③住宅にこまっていることがあきらかであること。
▷ 申し込み　9月26日から10月5日まで（用紙は住民課に備え付け）
▷ 選考　10月13日役場第一会議室で公開抽せんを行なう（予定）
▷ 入居期日10月15日の予定このほか希望が丘1戸（第2種月900円、大川1戸360円）もあります。なお、9月20日付のチラシに大川の住宅1.100円とあるのは360円の誤りです。

## 〝尊敬される親〟
# 話し合える家庭
### 第三回青少年育成大会

五城目町青少年問題協議会、少年委員会、児童生徒問題協議会、PTA連合会共催による「第三回青少年育成推進大会」は九月十四日、五城目第一中学校で開かれました。

当日は約百五十名参加して行なわれ、第一分科会（司会渡部富津内西小校長　指導伊藤実県児童福祉司）では〝家庭における子どものしつけのあり方〟について話し合い、その結論として「尊敬される親であり、気軽に話し合える家庭」がのぞましい。ということでした。

第二分科会（司会中村馬場目中学校長指導田村五城目警防部主任）では〝地域の青少年の生活指導のあり方〟について話し合い、結論として「地域の実情をよく知り、おとなはこどもの行動によく注意する」。

第三分科会（司会浜路五小校長　指導坂谷指導主事）では〝こどもを事故から守るにはどうしたらよいか〟について話し合い、その結論として「親はこどもの遊びの方法や場所をよく知り、共通の理解に立って家庭活動を指導する」ということでした。

全体会議では①こどもをほめる②非行を防ぐために集団化育成が必要である…など菅原主事の話しは多くの感銘を与えました。

最後に、実践五項目の宣言決議をし、多くの収穫を残して大会を終わりました。

一、青少年の生活の実態を把握し、社会の推移に順応した家庭教育の方向を確立する。
二、青少年をとりまく環境の浄化につとめ、児童館増設を推進しよう。
三、地域社会こぞって青少年の健全育成のため、組織を強化する。
四、交通事故、水泳事故の発生を防ぐため、万全の施策を施す。
五、青少年の道義感を高めるため、誤ちに対しては愛情ときびしさをもって積極的に補導しよう。

## ＊赤い羽根＊募金
# 目標額47万円

＊赤い羽根＊募金運動がはじまります。期間は十月一日から三十一日までの一か月間で、ことしの五城目町の目標額は四十七万円で、昨年より約十％の増額となっております。

ご承知のように、このお金はみんながしあわせになるための社会福祉事業、つまり、老人ホーム、生活の苦しい人、母子寮や精薄施設などに使われます。

ことしも婦人会や町内、部落会の方々からお世話をいただきお願いしますから、よろしくご協力ください。

## 九月の定例町議会
# 議案13陳情7審議

九月定例町議会は九月二十八日から十月六日までの九日間、役場会議室で開かれました。

第一日の二十八日は町長の施政説明、二十九、三十日の両日は一般質問、十月一日から議案審議にはいります。

この議会に提出されている議案は①町と県との間の公平委員会事務委託規約一部改正②町職員団体登録条例一部改正③町職員団体職員の制限の特例条例制定④国民健康保険条例一部改正⑤町表彰条例制定⑥町道認定⑦町有原野の使用廃止⑧昭和四十一年度一般、特別各会計補正予算⑨監査委員選任同意…の十三議案。陳情では町有地並びに町有原野払い下げ関係五件、恋地公民館補助、全国植樹祭開催誘致など、一日と三日に上程、各関係委員会に付託、四日、五日は各常任委員会、最終日の六日は各委員長報告、議決で定例議会を終わります。

## 町教育の向上に
# 熱心な討議

第三回五城目町教育振興大会は、九月十三日午前九時から五城目小学校で開かれました。

当日は九教科の部会を構成、研究討議を行ない、つづいて全体会議、小林町長の町政概要、小林教育長の教育概要の各説明などがあり、そのあと①児童の自主性をどう高めるか（馬場目小伊藤栄三氏）②上席女教員の学校全体経営に参画するにはどうすればよいか（馬内浅野ヒナ氏）③本校教育の反省（五小斎藤作夫氏）④生徒一人一人が学習に自主的参加するための一考察（内川中伊藤雅氏）⑤公民館活動（北鳴瀬一氏）…など活発な意見がかわされました。

## 善意に感謝

馬場目中村佐藤邦彦氏（県議会議員）からご母堂の香典返しとして十万円が善意銀行へ予託されました。この使途はご希望もあって、養老院（六万円相当のテレビ一台、町観光事業へ二万円、町社会福祉事業へ二万円となっています。

## 大分国体の
## 町出身選手へ

大分県で開催される秋季国体も来年になりました。つきましては本町出身者で県内県外を問わず、高校生で出場する選手は十日頃までに中央公民館へお申しいでください。わずかですが餞別を差し上げます。

## 広報サロン

公務員を公僕ともいっているが、われわれの主人公は町民である。しかし公僕だからといって徒らに町民のご機嫌取りにだけ浮身をやつして町行政の大局を誤ることのないように常に用心が肝要。

さて前号のサンロン約束した小畑知事側作の県庁四十八くせ（いろはにほへと）のつぎ、

ち　ちゝ刻のくせ
り　理屈こねるくせ
ぬ　ぬくためるくせ
る　…貯金ならよいが（筆者註＝書類をぬくためのは困る、相手の身にもなってみな。）
わ　わたり歩くくせ
か　…陽あたりを求めて（筆者註＝職務の外に、庁内の廊下ヨロヨロ歩めて）
か　学歴を鼻にかけるくせ
よ　…鼻もちならない
た　横車をおすくせ
れ　…それをやすやす通させるくせ
そ　…そぼくくせ
つ　…もっと気軽にあっさりしたらさてさてなくてしくせ、又次号に

（K）

# 税金はこのように使われている

経済

## 一般農政は50%進む 災害復旧は60%

農業構造改善事業では、館越をパイロット地区に指定し、区画整理とビニールハウス施設を千五百十一万円の経費で昨年から進め、今年度に完了します。

林業構造改善事業では、町をはじめ森林組合、各部分林組合生産組合などが事業主体となって、林道、素材生産施設、国有林活用、木炭並びに特殊林産などの事業を約二千五百六十万円をもって一部は今年七月から実施し、四十二年三月末をもって全部の事業を完了します。

畜産振興では豚を主体にし、昨年から進めていますが、今年度は神奈川、埼玉などの種豚四十七頭を導入、貸し付けを行なっており、事業計画の七五%ほど進んでおります。

## 災害復旧は年度内完工

農業災害復旧では三十九年災害十二か所、うち五か所が完成七か所と四十年災害の二か所は十月中に入札し、年度内に完成の予定です。なお、四十一年災害は十二か所ですが、これは九月二十六、二十七日の農林省査定で決定のうえ、明年度着工の予定です。

## 受診者の九割が疾患

### 胃の集団検診

八月三日から六日間にわたって実施した胃の集団検診（レントゲン検査）の結果がまとまりました。これは全町の希望者六百三人（男三五三、女二五〇）についてのものですが、胃の病気が全くない人が二十六人で、残りの五百七十七人は何らかの胃の疾患が見られます。病名と疾患数は①胃ガン〇③胃潰瘍七同疑い二五③二指腸潰瘍二、同疑い五九④胃ポリープ一、同疑い一〇⑤胃炎二三二⑥胃下垂三一八⑦薄状胃一二六、切除胃一〇、幽門脱の疑い一、胃輪郭症一、胃内ガス一、内臓転移症の疑い一、胃アトニー四四、胃内蛔虫一、食道憩室の疑い…となっています。ただし、一人で二つ以上の疾患もありますので、この数字は受診者の数を上廻ります。

疾患の方はどんな軽いものでも、早期治療で完全に治ることが、健康管理の第一要件ですから治療をおすすめいたします。

足早の秋

赤トンボが、足早の秋を追いかけるように舞い狂っている。森山の麓は一面ススキにおおわれた野茶畑で、山の姿もそろそろ衣更えの季節。来年のいまごろは無線中継所のアンテナが誇らしげに見おろすことだろう。

## 有利な青色申告のおすすめ

「青色申告」は民主的な税制で、白色申告にくらべ次ぎのようなメリットがあげられます。

▽あなたはねらわれる。戸締ぎ

①推計課税の禁止です。これは帳簿などの調査を受けたあとでなければ更正や決定を受けることがない②売掛金の回収不能や不渡り手形などの貸し倒れ金は必要経費として損益算入できる③欠損金をでた場合は損金算入できるほか、翌年に繰り越して損益算入できる④欠損金の繰り戻しによる還付が認められる…などです。

記帳も簡単ですから是非おすすめいたします。

（秋田北税務署総務課長）

## 秋の防犯心得六か条

(1)完全施錠…戸にも心にもかぎ

▽あなたはねらわれる。戸締りは完全に錠をかけましょう。

▽自転車は登録し、ちょっとの用事でもかならず施錠を

(2)現金、貴重品に注意

▽いつも現金や貴重品はねらわれる。完全な錠のあるもの に保管しましょう。

▽多額の現金輸送はかならず二人以上で。

(3)暴力追放 しない させない 見のがさない。

▽押し売りの予防…最初からはっきりとお断る。品物に手をふれない。隣り近所が協力し合って追い返す。

(4)届け出の励行

▽被害にかかったら大小にかかわらず、現場はそのままにして、すぐ警察に連絡しましょう。いつでも気軽に、早く届けましょう。

(5)こどもの事故防止

▽こどもの火遊び、水遊び、線路の置き石、道路の遊びは危険です。注意しましょう。

▽よくこどもを見守り、事故から守りましょう。

(6)少年の不良化防止

▽少年を犯罪から守りましょう

▽愛情をもって少年の相談相手になりましょう。

▽いつもこどもからはなれず

▼警察では防犯組合と協力して「農繁期防犯運動」を十月中旬から実施します。ご協力ください。

（五城目警察署）

## 国民年金新役員決まる

九月二十二日午後一時半から役場会議室で、国民年金委員の委嘱状が伝達されました。

当日は秋田社会保険事務所小川課長出席のもとに、年金法の解説協議会規約の制定などをすめたのち、新しい役員の選任を行ないました。選任された役員は次の方々です。（敬称略）

▽議会長 八柳千代吉

▽副会長 石井勝雄

▽幹事 斎藤長吉 渡部雄一

▽役員 斎藤長吉 貝田松之助 佐藤勝太郎 館岡広司 一関清治郎 鳥井義一 小野三郎 佐々木善蔵 田仲喜美治 佐藤利

## 寄生虫の駆除

国民健康保険の事業として、毎年実施している「寄生虫集団駆除」を実施します。実施期日はまだ確定していませんが、十月下旬から十一月上旬にかけて行ないます。（期日確定ともにチラシその他でお知らせします）

ご承知のように、寄生虫による障害は非常におそろしく、尊い命までうばわれることもありますので、かならず検便をし、その結果によって駆虫をしてください。特に多い十二指腸虫は無料で駆虫いたします。

左立門 佐々木千代吉 金沢弘治 葛岸孝造 渡部雄一 伊藤貞之助 伊藤次郎 小林春雄 椎名勇二郎 大石安正 松橋勘八柳千代吉 金子光太郎 佐藤勘吉 一沢田石芳治郎 石井勝雄

## 食量消費総合調査

農林省では国民の食糧の消費状態、食事内容などを調査し、食生活の実態、環境、栄養、健康を考えた総合的な家庭生活をつかみ、今後の食糧需給計画、需要の予測、適正生産目標をたてるため、十一月四日から八日までの五日間に抽出された「食糧消費総合調査」を行ないます。

全国で十万世帯ですが本町は四調査区で三十世帯。調査は①食事回数③主食内容③外食状況④食品購入先③食品内容③外食生活の耐久消費財③調達方法⑥食生活の意識などです。調査員は町村吉藤貞蔵、谷地中佐藤善隆の四氏です。

対策の万全を期していますが、まず大切なことはかならず県職業安定所を通して就労することです。

このきさしがみえ、季節労務者の求人、賃金条件などよくなっております。賃金不払いなど引っかからないためにも、職安を通してください。くわしいことは職業安定所または町役場出かせぎ相談所へお尋ねください。

## 出かせぎ〃は職安を通して

ことしも出かせぎの季節になりました。出かせぎはよい職場で、よい環境で、心配なく働くことが第一要件です。

そこで、町では県と連絡して

## 自衛官を募集

自衛官二等陸海空士の募集を常時受け付けています。

年齢は満十八歳から二十五歳未満ですから、ご希望の方は役場自衛隊係（戸籍係）へご相談ください。

任期は二年または三年で、修得した技術や教養がかわれて他への就職は百%のよい機会です。

また、継続勤務もでき幹部へ昇進もできます

（県自衛隊地方連絡部）

## 史跡めぐり

## 動き出すか？不動石

分銅志静

今町の清水ウドン屋から田町に向って少し行くと、左に折れる細い小路がある。小路はだんだん狭くなり、やがて戸村堰の橋に出る。昔はその辺に柳の木がならんで、垂れ下った枝をすかしてみると水門やヤマイチの工場のたたずまいなどかなり風情があった。橋をこえると、人がやっと通れるほどの畦道がある。昔は石田小路の道といって前の広ケ野の号の時ものべたように、五城目本町から山内、高崎の奥地に通ずる唯一の幹線であった。今でも町山や広ケ野へキノコやタキギをとりに行くときは、この石田小路の田圃道を通らずに人達は田町の本通りを通らずにいじめ森林組合の事務所の前をとおって、人目にもつかないわけである。なぜこの道を石田小路の道というかというと、そんな昔ツッコの石田小路の道から、一寸田ぼにのぼった右手に五城目町で内容的には一番古い伝説をもっている小動石がまつられているからである。その伝説というのは五城目郷土史や最近出版された「秋田の民話」にも出ているが、その筋は、馬場目の森山と五城目の森山は姉と妹で、名前も同じだが、妹の五城目が器量よく信者をたくさん集まったが、姉がそれをねたんで喧嘩になり五城目の投げた石は平の下に落ち、馬場目の姉の投げた石は今少しというところで、ふもとの田圃の中に落ちてしまった。その傷みの石が石田小路の不動石だというのである。今くタヴイもない話であるが、私達の少年の頃によくそんな昔ツッコを聞かされた。おそらく山岳仏教のさかんであった江戸時代には五城目の森山と馬場目の森山に修験者が立籠って、お互に霊験をきそったこともあったであろうそうしたことが昔ツッコとなって民間につたえられたものだろうと思う。しかしその石というのは私のみるところでは今考古学で問題になっている板碑の一種のようである。形としては大きすぎる感じもあるが、石井三友翁の秋田繁昌記の記述をみると、その石はもと路傍の田圃の中に板碑ではなく、石の文字はすっかり摩滅して一字もよみとることが出来ないが、やはり供養碑としての板碑ではなかろうか。なぜ不動石と言うかというと、江戸時代にこの石が邪魔になって、何度よそへ移しても夜のうちにまたもとへもどっているとのこと、村の人達が神とまつって石竜明神となずけたということである。

ところがこの不動石石竜明神も六百年あるいは七百年の長い間しがみついて来た田圃から他へ立ちのかざるをえなくなった五城目町の都市計画のために上町の常演寺が移転することになり、その移転先がこの不動石石竜明神（写真のように）おさまっているが、そのまわりはすっかり土にうずまり、今お寺ではそのお堂の石を動かすべき力動かさざるべき慎重審議の様子である。

秋田郷土史